



小田小だより

平成31年2月号

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号 TEL 045(775)3011

<http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/koda/>

横浜市立小田小学校

対応する力

校長 村上 裕江

暦の上では、もうすぐ立春ですが、1年中で最も寒さが厳しい時季です。保護者の皆様、地域の皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。この季節は、春の進学、進級に向けての準備が本格的に始まる季節でもあります。春に向けて草花や木々が、寒さに耐えながら、着々と根を張り、芽を膨らませている様子と子どもたちの姿が重なります。この厳しい寒さを経てこそ、春が近づくと嬉しさがますのです。これからは、近づく春を感じる事が楽しみな季節となります。

3年の国語の教科書(下)では、「雪 三好達治」「ゆき 草野 心平」「雪 山村 暮鳥」と、三人の詩人の詩を載せています。短い詩ですが、それぞれの詩人の感じた雪を選んだ言葉とリズムで表現しています。横浜に住んでいると雪は季節の珍しい風物ですが、雪が日常生活の一部になっている地域の方々にとっての雪の感じ方は、また、異なるものがあることでしょう。感じ方の違いを味わえる作品です。

これからの子どもたちは、将来、日本国内のみならず、世界中に行く可能性があります。感じ方、捉え方の違いに気づくとともに、違いを受け止めつつ、自分が伝えたいことをどのように伝えていくかを工夫する「対応する力」が必要になります。

1月16日NHK「探検バクモン」で都立日比谷高等学校の様子を取材していました。「『生きる力』を生み出す教育とは？」というタイトルで、高校生がお互いに教えあったり、テーマについて自分の考えが支持されるように、そのとき話題になっていることを取り入れてディベートを行ったりしている姿が放送されました。そんな高校生の様子をテレビで見ながら、小学校でも、この日比谷高校の取り組みにつながることは、既に始めているなあ、と改めて思いました。

学年に応じて、グループの人数やテーマは異なりますが、子どもたちがグループで取り組みながら、互いに考え合い学び合う中で課題解決を目指す活動は、ほとんどのクラスで行われています。クラスで考えたテーマにそって、調べたり、実践したりして目当ての達成を目指す活動は、特に生活科、総合的な学習、特別活動で熱心に行われています。小田小学校では、全校集会など、集会活動の時に、説明やPRをちょっとした劇仕立てで行って、参加している子どもたちの興味、関心を高めようとしている姿などは、伝えたいことを効果的に行おうとしている「対応する力」の表れです。

子どもたちの学び合いの中で見られる発想、協力する姿、特に、迷ったり困ったりしていることを解決できた時のすがすがしい笑顔には、一緒にいる教師も子どもたちとともに喜びを味わい、幸せを感じます。平成30年度もあと2か月です。そのような瞬間を目指して、教職員全員で力を合わせて、一日一日を大切に過ごしたいと願うこの頃です。ご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。